



町報

よぶこ

発行／呼子町・編集／企画課・印刷／唐津印刷有限会社

町勢

昭和47年5月末現在
住民基本台帳による

人口	男	4,073人
	女	7,817人
	計	1,923人

世帯数 1,923世帯
一戸平均 4.06 人

小川島医療に朗色
急患空輸体制整う

六月十七日朝九時、小川島の南西より姿をみせた陸上自衛隊西部方面ヘリコプター隊目達基地の九人乗りジェットヘリ「HUU-1B」は基地を八時三十分には飛び立って島の中央高台に建設されたへ



呼子町 7 月潮汐表

日 曜	旧 曆		高 潮			低 潮				
	月 日	月	午 時	前 潮	午 時	後 潮	午 時	前 潮	午 時	後 潮
1 土	5-21		0.07	194	11.47	214	5.42	84	6.19	46
2 月	22	E	0.44	193	0.34	203	6.28	84	6.57	60
3 月	23		1.23	193	1.30	190	7.22	85	7.41	74
4 火	24	C	2.08	193	2.39	175	8.31	84	8.34	89
5 水	25		3.00	194	4.05	166	9.54	79	9.41	102
6 木	26		4.02	196	5.44	167	11.20	67	10.59	109
7 金	27		5.14	201	7.05	175	※	※	0.36	50
8 土	28	P	6.26	211	8.04	186	0.14	108	1.36	36
9 日	29	N	7.29	221	8.53	196	1.16	103	2.29	23
10 月	30		8.22	233	9.36	202	2.09	94	3.18	16
11 火	6-1	●	9.10	240	10.15	207	2.58	85	4.03	14
12 水	2		9.54	241	10.52	208	3.44	79	4.44	18
13 木	3		10.35	238	11.31	206	4.28	74	5.20	27
14 金	4		11.14	229	※	※	5.09	73	5.53	44
15 土	5	E	0.00	203	11.53	214	5.51	76	6.21	58
16 日	6		0.32	199	0.32	197	6.33	80	6.46	73
17 月	7		1.03	195	1.14	179	7.19	86	7.12	89
18 火	8	D	1.36	200	2.04	163	8.13	95	7.43	104
19 水	9		2.14	184	3.12	148	9.25	100	8.34	116
20 木	10	A	3.02	180	4.58	144	10.58	99	9.54	126
21 金	11		4.08	178	6.48	151	11.25	128	0.18	89
22 土	12		5.34	181	7.43	165	※	※	1.12	77
23 日	13	S	6.45	192	8.21	177	0.35	122	1.54	64
24 月	14		7.39	203	8.56	190	1.27	112	2.21	50
25 火	15		8.22	216	9.29	199	2.11	102	3.07	41
26 水	16	O	9.02	228	10.01	209	2.51	92	3.41	34
27 木	17		9.40	236	10.33	214	3.30	83	4.14	30
28 金	18		10.17	240	11.04	217	4.08	76	4.46	33
29 土	19		10.56	239	※	※	4.46	71	5.18	40
30 日	20	E	11.35	219	11.36	231	5.26	69	5.50	53
31 月	21		0.06	218	0.20	216	6.10	70	6.24	70

N…最北 E…赤道 上 ㊦…その欄に相当する潮候の存在しないことを示す
●…朔 ☾…上弦 ○…望 ☾…下弦 A…遠地点 P…近地点 S…最南

リポトに住民や小学児童の見守る中に着陸、小川島診療所看護婦沢井登喜子さんから歓迎の花束が贈られ、この後、小学校児童並びに一般住民にヘリコプターの機能等を隊員より説明、機の見学を致しました。写真やテレビなどではお馴染みのチビツ子学者達も眼の前で見るのは初めて、大きな目をなおい層バチクリさせてヘリーに見入っていました。前田小川島区長はじめ、岸原小川島診療所長など二十八名の島の人びとが体験とう乗、唐津や玄海の島々を飛行しました。

体験とう乗者の一人は「自動車に乗っているようで爽快でした、上空からみると海底が手に取るように見えてきれいでした、唐津上空についたのも見る見る内で十分もかかってないようです、診療所の先生も来て戴いたし、ヘリコプターで急患も輸送して下さるし、小川島も大安心です」と語っておられました。

小川島のヘリポートは直径50メートルの敷地内に直径20メートル、厚さ20センチメートルの円型コンクリート舗装がしてあり、吹流しや、夜間廻転灯も四基整備付けてあります。

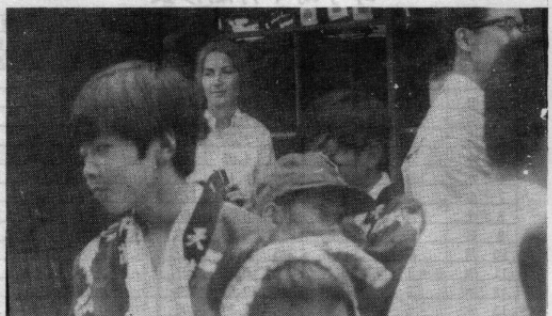
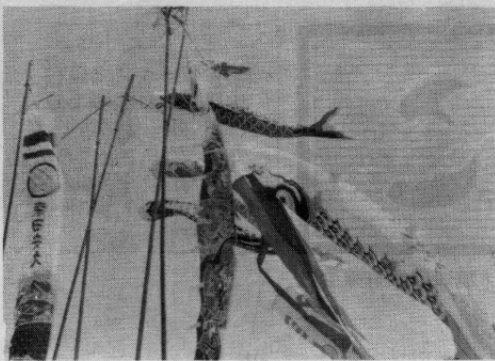
揃いのハッピで 伝統の大綱引き

六月十五日・十六日(旧暦五月五日・六日)に呼子町恒例の節句大綱引きが行なわれました。

さすがに伝統の綱引きとあってNHK・FBS・NBCの各テレビ局、各新聞カメラマン、一般カメラ愛好者、その上外人のお客さんも迎えての大綱引きで朝から天気も上々とあつて意気も上り、サイレンと打上げ火花を合図に、応援のドラがなる、力水がかけられる、男も、女も、子供も、全町民が気合を一つに綱を引く、浜が勝ったら大漁だ、岡が勝ったら豊作だ、どっちも呼子にやよかこつと不安そうでした。

たい、それ引けヨイサーヨイサー!!

今年は子供綱も、大人綱も、浜方の勝、大漁が予想されます。それにしても年々減少する若衆に、綱引き振興会の役員さんも頭痛のたねです、「昔は郵便局(現在松浦漬倉庫)の前から、谷口本店の前までぎっしりと人が綱についていて、曲り角に建ててあるほんぐいに熱を出さぬための水かけ役が汗びっしょりでした」と回顧される御老人も引き手の少ない大綱引きに「どうしたもんだらうなあ」と不安そうでした。



左上から＝初節句、こども綱、ボくらが運ばにや
始まん、ドラじゃないんで気が引ける 右上から＝
「ミト」の解体「オーイ」一休み、外人のお客さん、ボクも引いてるよ。

待望の呼子小学校プール開き

福岡大学水泳部の お兄さん達を迎えて

港内海岸道路の整備と船舶の増加に伴い、身近に海を持ちながら安心して泳ぐ場所を持たなかった呼子小学校の児童たちに「ぜひ、水泳プールを」との父兄の願いが実って、呼子小学校校庭に立派な25メートルプールが完成。六月二十日福岡大学水泳部のお兄さん達を迎えてプール開きが行なわれました。当日水泳部のお兄さん達によるいろいろなかたちの泳ぎ方と、水

しぶきを上げての力泳がありました。部員の中の植田健二さんはオリンピック準候補として現在バタフライに大活躍のお兄さんです。その後で五年、六年の上級生が部員の兄さんから練習を指導してもらいました。立派なプールを見てお母さん達も「あたし達も泳げるよう指導してもらおうかなあ」との声もきかれました。



郷土の新進歌手

松原建氏『延寿荘』慰問

六月十三日午後三時頃町養護老人ホーム『延寿荘』に玄海町普恩寺出身の歌手、松原建氏が兄さんの池田国衛氏、ワイルド・バードレコードの島津弘一氏等と共にホームの御年寄達を慰問にとひょこり来訪。平川園長も、岡区のお年寄も一緒に聞いていた。こうと早速連絡、ホームの休養室一杯に御年寄達を迎え松原氏の『唐津慕情』、『名護屋大橋音頭』の熱演

に会場の御老人方もうつとりと聞き入っておられました。終つて老人方から「私達がついて居ります頑張って一流になつて下さい」、と声援が飛べば、「皆さんの御期待にそつと一生懸命勉強致します」と、五十人ばかりとはいえないからの応援者を得て、松原氏も感激のおももちでした。

47年度出稼者講習会予定表

月日	対象地区	時刻	会場
1/6	小友、大友地区	午前10時	小友公民館
2/6	大字呼子、殿の浦地区	午後3時	社会体育館
3/6	小川島地区	午後7時	小川島漁協
7/6	大字加部島地区	午後1時	加部島公民館

観光案内所 事務員募集

観光協会では次のとおり事務員を募集しています希望者は履歴書を観光案内所、または観光協会事務局（役場商工観光課）へ提出してください

記

- 一、女子（年齢は問いません）
- 二、給与 面談の上
- 三、申込期日 七月十日

『若者のつどい』開く

六月四日午後一時より町社会体育館三階ホールに於て、町青年団主催で『若者のつどい』が開催されました。

この催しは、日常生活の中에서도個人のからにとじこもりがちな若者の一日を、レクリエーションを通じて話し合いの場を造り、「現代に対応する青年のあり方」を「町発展への後継者としての若者の立場を」等、活発な意見を交換して、問題の多い青年団グループ活動の将来を作り出そうというもので集まった男女四十人の若者達は、フオークダンス、唄、ゲーム等なごりつきない楽しさを別れの唄をうたいながら、再会を



ジャンケン打ち



お昼食も自前で

約して夕刻六時三十分解散しました。青年リーダーの一人は次の様に話していました。現在町の青年団活動が停滞していることはたしかなのですが、まあ色々な問題があるんですね、このことは郡のリーダーの会合のときもいつも云われることですが、地元青年が少いと云うことです。皆んなそれぞれに頭が痛いようですが、呼子の場合特に地元に残ってくれる青年が少い様です。次に呼子町では青年の働いている業態が非常に多様ですので、他町村の農村青年の関で活動の盛んな四日クラブなどの様に一つの仕事の

場を通じての活動が出来ない。例えて農家の間で問題になっている農業等の話しを漁業をやっている仲間話して見ても、話の内容はわかるにしても実感が出来ないですね、だから結果的に「心のつながり」等の関連のある問題だけを活動の主体性に組み込んで行くしかないんです。それからもう一つの面に大人と団とのふれあいと云うことがあるんです。これは団そのもののものもあり方など、もつとPRしなくてはいけないことですが、それに今の大人の人間の青年団と云うものに対するイメージがどんなものであるのかもつと勉強が必要であると痛感するのですが。大人の人間が「まあ、ボク達のときの青年団は」と、いとも楽し

そうに青年当時の様子を話されるんですが、そんなに楽しかった青年団時代があったなら、その言葉ですぐに「しかし、今の青年団は駄目だ。」という様に投げ出さないで、団に対する指導が欲しいんですが、ひどいものになると「だからウチの娘達は青年団には入れないことにしている。」なんてソツボ向の格好なんです。ちよつとやりにくいと思います。そりや若い者であることは、視野の狭い人生感であることに異論はありません。しかし若い者は、若い者なりに、若い内にこそ勤勉や、努力や、忍耐の習性を身につけて置かねばならない、これらの習性を身につけることこそ、永久に消えることのない人生の財産であり宝であると思っております、それを身につけるためにこそ、より多くの出来事や、いろ／＼の人間達と話し合い、そんな行動の内にお互が何かを学びとりながら、自己養成の血や肉にしていきたい、こんな問題を取上げる場として青年団活動があるんだと思つて居ります。昔から比べますと非常に多様化され、変ばうする現代社会の中で生きている青年達にとって、小さいときから習性の様になっている多面的な欲求をグループ活動の中にどんな形で取り入れて行くか、なかなかむづかしいですよ。そのためには若い仲間も、もつと

活動の上で、創意を燃やして呉ればいいんですが、と悩みの一端をもらしていました。



5月末現在

お誕生

中道 貴之(藤勝 長男) 海士町
谷 宗一(茂 次男) 愛宕町
安田 隆志(賢司 次男) 〃
伊藤 孝二(勝治 次男) 殿ノ浦西
古川 富江(朋子 三女) 〃
川添のり子(和知 二女) 小川島



高砂や

佐々木 茂 殿ノ浦岡
瀬戸真理子 七山村
川崎 節子 先方町
吉村 節子 宮ノ町
益山 二三男 小川島
川添いつ子 〃
林 重勝 小川島
上柿八重子 〃
山下 善広 松浦町
古川美三子 玄海町



おくやみ

川崎 林治 70才 先方町
山下 清 53才 〃
彦坂 寅吉 67才 松浦町
向 三代司 61才 加部島